

令和元年10月18日  
福島河川国道事務所  
福島地方気象台

---

## 令和元年台風第19号に伴う阿武隈川上流の 洪水予報・水防警報の暫定基準の運用について ～10月18日10:00から暫定基準水位を設定～

---

令和元年台風第19号による出水により、福島県須賀川市浜尾地先において阿武隈川の堤防が決壊しました。

このため、阿武隈川の須賀川水位観測所（須賀川市江持）について、国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所と福島地方気象台が共同で発表している「洪水予報」及び国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所が発表している「水防警報」の発表基準について、堤防の決壊による被災状況を考慮し、令和元年10月18日10:00から当面の間、別紙のとおり新たに設定した水位の暫定基準にて、洪水予報及び水防警報を発表します。

大雨時には、河川の水位が急に上昇する場合がありますので、雨量や水位等の防災情報には注意してください。

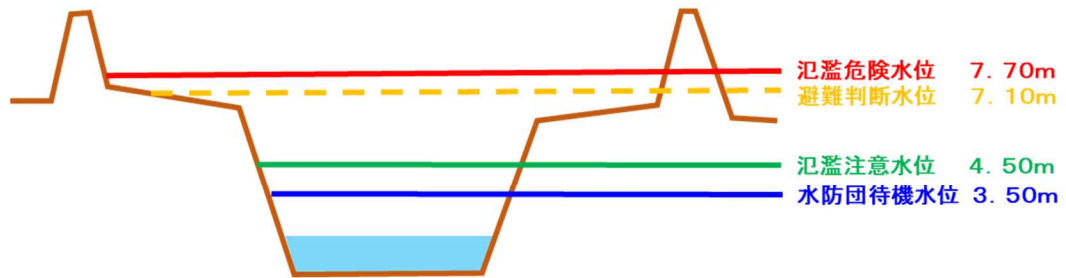
<<発表記者会：福島県政記者クラブ、福島市記者クラブ、郡山市記者クラブ>>

### 【問い合わせ先】

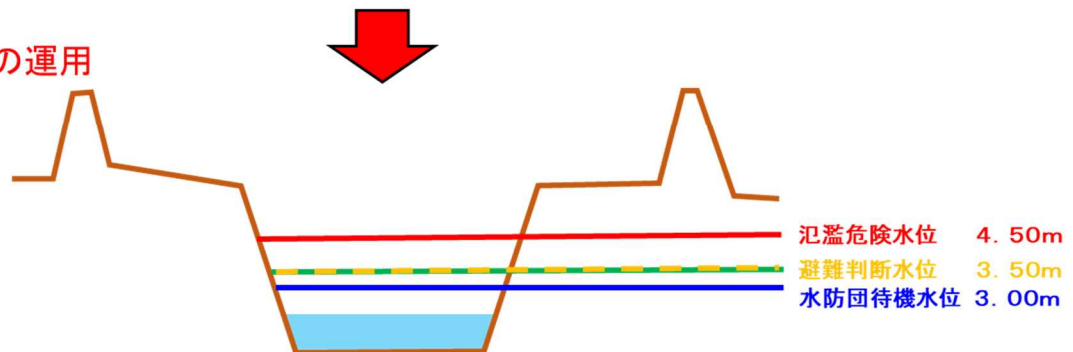
福島河川国道事務所	調査第一課長	古賀 博久	電話	024-546-4331
福島地方気象台	水害対策気象官	上澤 健一	電話	024-534-0321

## 【須賀川水位観測所（97.9kp）】

従来



当面の運用



## 見直しの考え方

- ① 現在、堤防決壊箇所（左岸 98.6kp）で洪水が安全に流下する高さは、住宅地側の地盤高相当です。
- ② ①の高さの流量は、約  $800\text{m}^3/\text{s}$  と見込まれます。
- ③ 堤防決壊箇所の下流にある須賀川水位観測所で約  $800\text{m}^3/\text{s}$  が流下する水位から避難に必要な時間中の水位上昇分を減じて、氾濫危険水位を設定しました。
- ④ 避難判断水位は、氾濫危険水位より 1 時間の水位上昇分低い水位で設定し、氾濫注意水位については、避難判断水位と同じ水位としています。
- ⑤ 水防団待機水位は、氾濫注意水位より 30 分の水位上昇分低い水位で設定しました。
- ⑥ 緊急復旧対策が完了するまでは、今回見直しを行った水位で洪水予報及び水防警報の発表等を行います。

水位危険度レベル	水位	求める行動の段階
レベル5	氾濫の発生以降	氾濫水への警戒を求める段階
レベル4	氾濫危険水位から氾濫発生まで	いつ氾濫してもおかしくない状態 避難等の氾濫の発生に対する対応を求める段階
レベル3	避難判断水位から氾濫危険水位まで	避難準備等の氾濫発生に対する警戒を求める段階
レベル2	氾濫注意水位から避難判断水位まで	氾濫の発生に対する注意を求める段階
レベル1	水防団待機水位から氾濫注意水位まで	水防団が体制を整える段階